

国際英語学科 講師吉田和生先生が
文楽人形遣いで人間国宝に認定されます
～女子大生へ伝えたい日本文化・文楽 授業見学会を開催～
 日時：8月25日(金) 14:30～15:30 / 場所：大阪樟蔭女子大学

2017年9月に、人形浄瑠璃文楽の人形遣いの吉田和生先生が重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されることが決まりました。吉田和生先生は、大阪樟蔭女子大学（東大阪市）国際英語学科非常勤講師であり、これまで15年にわたり、毎年集中講義で文楽人形を使った実技指導をして頂いております。今回の認定を受け、今年は報道関係者のみなさまに限定し、最終日の授業風景を見学できるよう準備しました。

授業終了後は、吉田先生への質疑応答の時間も予定しています。お忙しい中とは存じますが、ぜひこの機会にお集まりいただき、先生の演技指導をする姿、また人形を遣う学生の奮闘ぶりをご覧いただければと思います。

■授業の到達目標

体験を通した「日本文化」の魅力と意義について理解するために、以下の3つの目標達成を目指す。

- ・文楽の歴史・人形の仕組み、舞台の構造などを理解することができる。
- ・文楽の学習を通して「上方文化」「日本の伝統文化」のエッセンスを理解することができる。
- ・人形の初歩的な遣い方を理解し、演技することができる。

■授業の概要

異文化理解・日本文化発信の実践として、「上方文化」あるいは「日本の伝統文化」の代表ともいべき文楽の歴史について学び、実際の舞台で使用する人形を遣って、喜怒哀楽等の表現の実技指導をする。最終授業では実技の成果をプレゼンテーションする。体験的な学びを通して、机上の勉強だけでは知りえない日本伝統文化の知恵や技術を学ぶ。

- ・8月23日(水)～25日(金) ・国際英語学科 2～4年生対象



【授業見学会 概要】

日時：2017年8月25日(金) 14:30～15:30頃
 授業終了後は、吉田先生への質疑応答の時間を予定

場所：大阪樟蔭女子大学 堅志館 136教室

内容：学生らの発表・先生への花束贈呈など

※取材の際は、事前に下部の問合せ先までご連絡ください

左の写真は(独)日本芸術文化振興会より引用

＜本リリースに関するお問合せ先＞

学校法人樟蔭学園 100周年記念事業本部（担当：宮田）

TEL:06-6723-8152（直通）FAX:06-6723-8263

E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭学園は創立100周年



樟蔭学園 100周年記念ロゴマーク



【プロフィール】

吉田和生

(人形浄瑠璃文楽人形遣い 本名: 狹野恒利)

愛媛県生まれ。

1967年、人形遣いの吉田文雀（人間国宝・昨年死去）に入門。

女方から立ち役（男役）まで幅広い人物を演じ、師匠の品格高い芸を継承している。

公演ごとに人形の首を決める「首割り」の役目も師匠から引継いだ。

舞台では、「妹背山婦女庭訓」の定高、「仮名手本忠臣蔵」の戸無瀬などの大役を演じている。

2017年7月21日入門50年の節目に、文楽人形の遣い手として、国の文化審議会が重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定するよう文部科学大臣に答申した。



【芸歴】

- 昭和42年7月 文楽協会人形部研究生となる
- 昭和42年7月 現吉田文雀に入門、吉田和生と名のる
- 昭和43年4月 大阪毎日ホールにおいて初舞台
- 平成29年7月 国の文化審議会が吉田和生を重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定するよう文部科学大臣に答申

【受賞歴】

- 昭和56年8月 昭和55年度因協会奨励賞
- 昭和62年7月 昭和61年度因協会奨励賞
- 平成3年1月 平成2年度文楽協会賞
- 平成4年1月 第11回(平成3年)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
- 平成12年7月 平成11年度因協会賞
- 平成16年1月 平成15年度大阪文化祭賞
- 平成18年3月 第25回(平成17年度)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
- 平成26年3月 第64回(平成25年度)芸術選奨文部科学大臣賞
- 平成27年3月 第34回(平成26年度)国立劇場文楽賞文楽大賞

上の写真・芸歴・受賞歴は、(公)文楽協会ホームページより引用

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 100周年記念事業本部（担当：宮田）

TEL:06-6723-8152（直通）FAX:06-6723-8263

E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭学園は創立100周年



樟蔭学園 100周年記念ロゴマーク